

県内過去5年間(平成24年～28年)夏休み期間中・小学生の交通事故死傷者 346人中

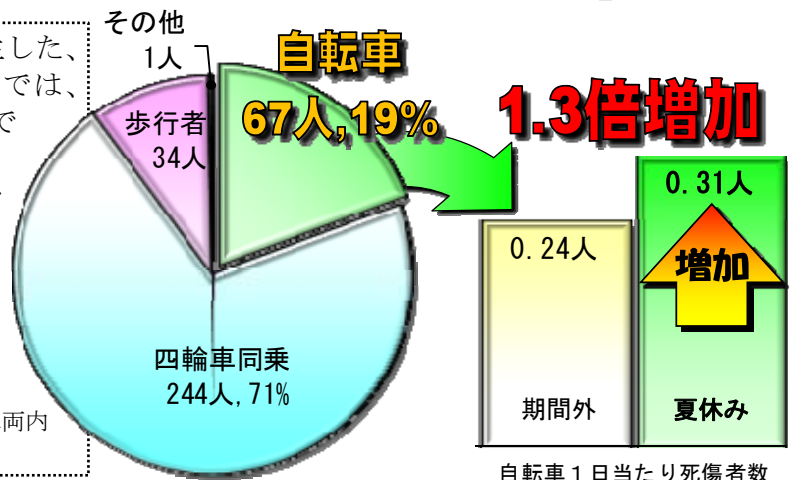
夏休み小学生の交通事故は、 自転車事故が増加

過去5年間の夏休み期間中に発生した、小学生の交通事故死傷者の状態別では、四輪車同乗が71%で最も多く、次いで自転車の19%となっています。

自転車の死傷者数を一日当たりで見ると、

**夏休み期間が期間外を
1.3倍上回っています。**

- ※1 夏休み期間は7/20～8/31(43日間)×5年間としました。
- ※2 「その他」とは、運転者のいない駐車車両内等、物件内にいた者等をいいます。

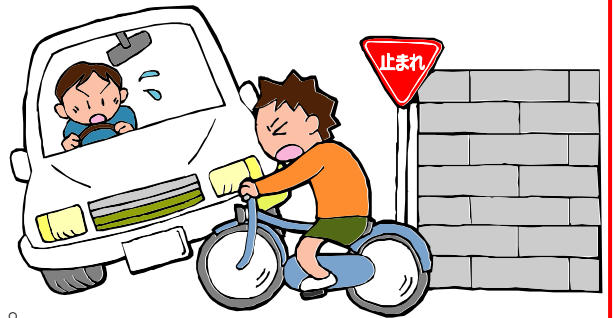


○ 県内過去5年間(平成24年～28年)、夏休み期間中・小学生の自転車の死傷者 67人中

約7割が交差点などで他の車両と衝突する「**出会い頭衝突**」。

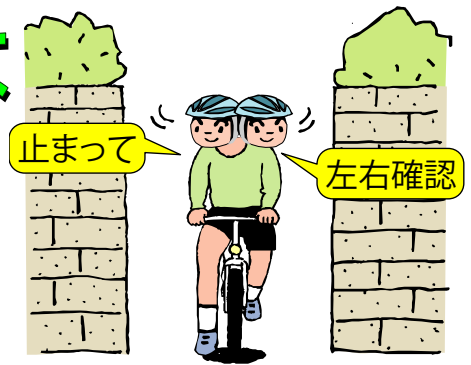
約5割が「**安全不確認**」や「**一時不停止**」など、自転車側にも原因あり。

約6割が「**ヘルメット非着用**」、非着用の場合、頭部の損傷が約2割で、着用者(約1割)の約2倍も比率が高く、深刻なダメージとなる可能性あり。



自転車に乗るときは

- ・ 見通しの悪い場所では必ず止まり、左右の安全を確認する。
- ・ 歩行者優先、歩行者に道を譲る。
- ・ ヘルメットは必ず着用する。
- ・ 二人乗りなどの違反行為はしない。



※詳細な分析結果は、県警ホームページまで

https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/a02_traffic/archives/analysis/index.html